医療関連 分野

### 注目のプロジェクト 自治体連携

# 女性の経済参画への推進と 健康課題の解決を両立

経血量とバイタル情報が測定可能な超吸収型サニタリーショーツと対応へ ルスケアアプリ、および女性の健康促進サービスの開発プロジェクト









周期別で経血量を

## 世界初。 経血量が測定可能な、 超吸収型サニタリーショーツ

女性活躍推進が推し進められ、女性の働き方が見直され てきましたが、女性特有の健康課題については触れられて いない現実があります。経済産業省のデータによると生理 痛やPMSなどによる労働損失4.911億と、無視できない数 字が出ており、国内外問わずフェムテック分野へのニーズが 高まっています。今後、女性特有の健康課題への取組みが 必須であり、これまで把握がかなわなかった経血量の収集 によりその課題解決のための研究や医療分野への応用を目 指した取組みが当プロジェクトです。

Bé-A〈ベア〉は吸収型サニタリーショーツブランドで、圧 倒的吸水量を誇る製品技術をベースに、ミツフジ福島工場の 技術協力のもと、経血量の測定を可能にする、世界初の吸 収型サニタリーショーツの開発を行っています。また、Be-A Japanは川俣町にある福島支店を拠点に、開発品の形状や

付け心地など、地元川俣町の企業で働く女性を対象に課題 解決を図っています。

実用化に向けた取組みとするために、様々な課題にアプロー チしています。まず、経血量測定における正確性です。量や 粘度の異なる経血を想定し、経血量の測定精度を高めること が一番の課題になります。個人差があるからこそ、実証実験 を繰り返し、そのデータを収集・蓄積・検証を重ねることで、 精度の高い測定を可能にします。川俣町と連携し、地元協力 者へ生理についての理解を深めるセミナーや、本プロジェクト の丁寧な説明を行うことで、現在では町在住の方や町企業で 働く女性を含め約200人の方々の協力を得られており、令和 4年度では実機の開発から貴重なデータ収集までを実現して います。



社内の商品開発の様子

## アプリを用いた ヘルスケアサービス

これまで、経血量は「あいまい」な情報でした。経血量 には個人差があり、どれくらいの量が多いのか、少ないのか、 比較対象もないまま個人の判断となっています。このプロジェ クトでは、生理から更年期まで女性の心身の健康に関する 正確な情報を可視化することで、女性特有の疾患に対して 早期発見・早期治療をサポートする革新的ヘルスサービス を提供する、という側面を持ち合わせています。収集・蓄 積したデータに基づく体調判定アルゴリズムを確立し、大学 との連携や婦人科等医療機関への導入により、医療関連 分野への貢献を目指しています。

このヘルスケアアプリを実用化することで、経血量や生 理周期の把握はもちろん、漏れアラートや体調予測等の情 報提供サービスを実現します。さらに、日常への変化から、 病院への早期受診を促すことで、女性の健康推進を叶えます。

次年度以降は、実証実験の評価を元に製品開発を進め、 測定の精度・アプリの改善を行います。 そして、ショーツと して着用するだけでなく、アプリを介して自身の変化の把握 を可能とし、体調管理アドバイス等が受けられるワンパッケー



ジ化での販売を目指します。

また、Bé-A〈ベア〉の超吸収型サニタリーショーツは一 日中着用出来るほどの吸水量を誇るため、災害時の備蓄と しての活用も視野に入れ、展開していきます。

2021年の新語・流行語大賞に「フェムテック」がノミネー トされました。前述でも述べたように、女性特有の体調不 良による労働損失は大きなものとなっています。本プロジェ クトはそのフェムテック市場へのニーズの高まりを象徴した ような製品・サービスとなり得るものです。さらに、事業連 携協定を締結した川俣町の産業課題にも寄与出来る活動と して、町の掲げる「健康づくり・医療の充実」に貢献してい きます。

### 関係者からのメッセージ

### 女性がより健康で安心して 活躍できる社会へ

川俣町政策推進課 佐々木舞奈

町と株式会社Be-A Japanは、令和4年3月28日、事業 連携協定を締結し、女性がより健康で安心して活躍できる まちづくりを推進するとともに、原子力災害からの復興及び 地域産業の技術の高度化・経営基盤の強化を図る取り組み を行っています。

生理は経血量や生理痛など個人差があるため、他人に

は理解されない悩みを持っている方も多いと思います。だ からこそ、「経血量を測定できる吸水ショーツ開発プロジェ クト」は、経血量を可視化することによって、自分の身体 を客観的に把握でき、体調管理や女性特有の疾患の早期 発見にもつながるものになると期待しています。

少子化・高齢化が進み、生産年齢人口の減少が確実な なかで、さらなる復興には女性の活躍はかかせないものと 実感しています。このプロジェクトへの理解を広げ、女性が 健康で安心して活躍できる社会を構築し、より一層の女性 の活躍、社会進出に寄与できるよう取り組んでまいります。

### 株式会社Be-A Japan

住 所 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-1-7 青山アロービル2F 〒960-1406 福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字雁ヶ作91

創業 2020年3月30日 10名

03-3473-3939

URI https://withbe-a.com/

Be-A Japanは、「Girls be ambitious.望め ば変わる。人生も、世界も。」をコンセプトに、 女性をはじめ、すべての人の心身の健康と 活躍を応援しています。これまで不便を感じ ることの多かったサニタリーライフにおいて、 その期間のニーズに寄り添う高い機能性を備 えた新たな選択肢として、超吸収型サニタリー ショーツブランドBé-A〈ベア〉を提案。多 様化する女性の生き方をエンパワーし、サス テナブルなものづくりと消費が求められる現 代社会への貢献をめざしています。



24 注目のプロジェクト | 医療関連分野 25